

社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成27年6月

計画の名称		1 南砺市セーフティネットの構築と住環境の向上（南砺地域住宅計画）												
計画の期間		平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象		南砺市					
計画の目標														
A1 ・セーフティネットの構築と少子高齢社会への対応を推進することにより、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりを実現する。 A1 ・自らが住む地域へと関心が広がる中、地域づくりにつながるような住環境向上を実現する。 A2 ・民間建築物のアスベスト対策を講じ安全性を確保する。														
計画の成果目標（定量的指標）														
A1 公営住宅収入超過者の割合を引き下げる A1 公営住宅の整備戸数を引き上げる A1 定住奨励制度を引き上げる A1 市全域において不良住宅の除却を行う A2 不特定多数の者が利用する民間建築物のアスベストの除去工事等に対し補助金を交付。市民の安心・安全な住環境を確保する														
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考		
									当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)			
A1	南砺市内の公営住宅に入居する収入超過者・高所得者の割合 (収入超過者・高所得者率) (%) = (収入超過者・高所得者公営住宅入居者戸数) / (公営住宅入居者戸数) (%)							10%	－	5%				
A1	南砺市内の公営住宅の整備戸数 公営住宅戸数＝(建替え住宅24戸及び新規住宅)－(解体住宅) (戸)							381戸	－	401戸				
A1	定住人口増を図るために住宅の取得率を図る (住宅取得率) (%) = (持ち家・転入住宅数) / (全住宅数) (%)							0.5%	－	3.0%				
A1	市全域の老朽危険空き家戸数							229戸	－	223戸				
A2	民間建築物のアスベストの除去工事等補助件数 (件)							0件	－	1件				
全体事業費		合計 (A+B+C)	1,390百万円	A (うちAc)	1,390百万円 (364百万円)	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 (Ac+C) / (A+B+C)	26.18%			
事 後 評 価														
○事後評価の実施体制、実施時期														
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期							
南砺市建設部都市計画課							平成27年6月							
							公表の方法							
							南砺市ホームページで公表							
1. 交付対象事業の進捗状況														
交付対象事業														
A 基幹事業														
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	住宅	一般	南砺市	直接	市	公営住宅等整備事業	遊部住宅のぞみ建設44戸						815	
						公営住宅ストック総合改善事業	長寿命化計画策定						85	
1-A1-2						公的賃貸住宅家賃低廉化事業	ぞみ						108	
1-A1-3						住宅地区改良事業等	空き家再生等推進事業（除却）						1	
1-A1-4						南砺市優良住宅団地開発行為支援事業	高堀地内、梅ヶ島地内、法林寺地内						32	
1-A1-5				南砺市木造住宅耐震改修支援事業		木造住宅の耐震化工事費補助						3		
1-A1-6				住宅相談所・住情報提供支援事業		福野地域、福光地域、井波地域						2		
1-A1-7				克雪住宅普及事業		山間過疎地域への克雪住宅改修補助						6		
1-A1-8				南砺市に住んでみんないけ事業		定住奨励金制度（転入・持ち家奨励金）						73		
1-A1-9						建替団地用地取得費	遊部住宅のぞみ用地					246		
1-A1-10			シルバーハウジング計画策定業務	遊部住宅のぞみにおける事業計画の策定					2					
												(地域住宅計画に基づく基幹事業) 小計	1,373	
												合計	1,373	

A 2 住環境整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
								H22	H23	H24	H25	H26			
1-A2-1	住宅	一般	南砺市	間接	社会福祉法人	住宅・建築物安全ストック形成事業	南砺市における民間施設アスベスト除去						17		
													(住宅環境整備事業) 小計	17	
													合計	1,390	
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
													合計	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
C 効果促進事業															
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
													合計	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況							
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・定住政策の充実や住み替え指導の徹底により、収入超過者の割合は従前より低くなった。 ・遊部住宅のぞみの建設により、別地建替えと老朽住宅の滅失が実施できた。 ・人口減少や高齢化の流れは止められないものの、市内外からの定住は順調に伸びており、地域社会にとって良い刺激になっている。 ・老朽危険空き家の除却を行い、地域において環境面、安全面、衛生面等に対する不安を取り除けた。 ・井波福祉センターのアスベスト除去工事を行うことにより、施設利用者の健康被害を未然に防いだ。					
II 定量的指標の達成状況	指標①（公的賃貸住宅家賃低廉化事業、住宅相談所・住情報提供支援事業）	最終目標値	5%	目標値と実績値に差が出た要因	あと数年で定年を迎え所得の減少が予測される収入超過世帯では、家賃が上昇しても将来への不安から転居を希望されなかった。また、南砺市では地域とのつながりが強いので、子育て中の収入超過世帯では、学区の問題から転校が必要となるような転居を希望されなかった。築20年以上の公営住宅においては、収入超過をしても家賃の上昇額が少額になるため、経済的負担が苦にならない世帯が多かった。		
		最終実績値	8%				
	指標②（公営住宅等整備事業、建替団地用地取得費）	最終目標値	401戸	目標値と実績値に差が出た要因			
		最終実績値	401戸				
	指標③（南砺市に住んでみんないけ事業、南砺市優良住宅団地開発行為支援事業）	最終目標値	3%	目標値と実績値に差が出た要因	定住奨励金制度と平行して、市単独事業において民間賃貸住宅居住補助金制度を実施しているため、若年世帯においては、持ち家よりも賃貸を希望される方が多かった。		
		最終実績値	2%				
	指標③（住宅地区改良事業等）	最終目標値	223棟	目標値と実績値に差が出た要因	県外の所有者が多く、事業の趣旨を理解してもらうのに時間がかかった。また、除却事業を行っていたが、活用を希望される所有者もあったため、継続事業として次期計画において実施することとした。		
		最終実績値	225棟				
	指標④（住宅・建築物安全ストック形成事業）	最終目標値	1件	目標値と実績値に差が出た要因			
		最終実績値	1件				
	III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・公営住宅ストック総合改善事業により、屋上改修が進み、冬季の雪害や凍結の不安が解消された。				
	3. 特記事項（今後の方針等）						